研　修　参　加　報　告　書

令和　３年　７月１２日

会　派　名　江南クラブ
会派代表者　牧野　圭佑

（参加者：　牧野圭佑）
研修参加の結果について、次のとおり報告します。

年 月 日	令和３年７月５日（月）～６日（火）
研修時間	13：15～16：30、　9：00～12：15
研修場所	全国市町村国際文化研修所（ＪＩＡＭ）
研修内容	令和３年度　世界情勢からわがまちの未来をつくる ～トップマネジャーの方のために～ 講師：京都精華大学 学長　ウスビ・サコ氏 東京大学史料編纂所 教授　本郷　和人　氏 大阪経済大学経済学部 教授　福本　智之　氏 UNEP 金融イニシアティブ特別顧問 自然エネルギー財団代表理事副理事長 WWF ジャパン代表理事会長 気候変動イニシアティブ代表　末吉　竹二郎　氏

研　修　参　加　報　告　書

年　月　日	令和３年７月５日（月）～６日（火）
研修時間	13：15～16：30、　9：00～12：15
研修場所	全国市町村国際文化研修所（ＪＩＡＭ）
研修内容	令和３年度　世界情勢からわがまちの未来をつくる ～トップマネジャーの方のために～ 講師：京都精華大学 学長　ウスビ・サコ氏 東京大学史料編纂所 教授　本郷　和人　氏 大阪経済大学経済学部 教授　福本　智之　氏 UNEP 金融イニシアティブ特別顧問 自然エネルギー財団代表理事副理事長 WWF ジャパン代表理事会長 気候変動イニシアティブ代表　末吉　竹二郎　氏

■目的

ポストコロナの江南市行政の進むべき方向性を勉強するため。

■講義１

・アフターコロナ・ウィズコロナ時代の世界と日本

京都精華大学　学長　ウスビ・サコ氏

アフリカ・マリ共和国生まれ、バンバラ語、英語、フランス語、中国語、関西弁を操るマルチリンガル。多様な価値観を認め合う社会の在り方を提唱。これからは個が中心に成る社会。15～24 歳をＺ世代と名付け、彼らはデジタルネイティブでありユーチューバーを信用しているとのこと。多様性と多文化とは違うとのこと等、興味深い内容であったが、日本語は上手だけれど聞き取り難かったのが残念。

■講義２

・歴史から学ぶ疫病とのつきあい方

東京大学史料編纂所　教授　本郷　和人　氏

日本の人口の推移（概略）：600 年 600 万人、1600 年 1200 万人、1700 年 2500 万人、1800 年 3000 万人。600 年から 1000 年で人口が倍にしかならなかった原因は①戦争、②飢餓、③病気。1600 年から 100 年で人口が 2.5 倍になった理由は①平和、②識字率の向上、③ある程度のレベルの医療が発達。

日本を悩ました感染症は①天然痘、②麻疹（はしか）。737 年、奈良の都で天然痘が大流行し、100 万から 150 万人が死亡。聖武天皇が大仏を建立、光明皇后は悲田院を建て治療に当たった。

1492 年、コロンブスが米大陸を発見し、梅毒が世界に蔓延。江戸の吉原等で感染。

西洋知識の導入で一変した疫病対策←下地となる既存の学問が日本にできていた。

神道の「清らけく」の言葉の重み、清潔を重んじる日本人は疫病に強い民族。

■講義３

・コロナ禍における世界経済の動向と自治体への影響

大阪経済大学経済学部　教授　福本　智之　　氏

世界経済の成長率（IMF 見通し）

	世界計	米国	ユーロ圏	英国	日本	中国	インド	アセアン
2021 年	6.0	6.4	4.4	5.3	**3.3**	8.4	12.5	4.9
2022 年	4.4	3.5	3.8	5.1	**2.5**	5.6	6.9	6.1
2023 年	3.5	1.4	1.9	2.0	**1.1**	5.4	6.8	5.7

中長期的なコロナの傷跡は政府の迅速な対応もあり、グローバル金融危機（リーマンショック）に比べ小さいが、傷跡は政策次第で大きくも小さくもなりうる。成

長低下要因①失業の長期化に伴う技能の低下、②設備投資の弱さ、③急激な産業構造の転換に伴う生産性向上への影響、④政府保護によるゾンビ企業の温存。

デジタル化の加速は
①マクロ経済でみれば、新たな生産性向上、投資拡大の契機となりうる。
②ＤＸ（Digital Transformation）がコロナにより急加速、この流れはコロナ後も続く。
③ＤＸはＣＸ（Corporate Transformation）を伴うものでなければならない。

脱炭素化ＧＸ（Green Transformation）:2050年カーボンニュートラルへ
電源構成：石炭は1/2へ、天然ガス2倍、風力5倍、太陽光12倍、その他低炭素3倍へ。
脱炭素化が各産業の競争を加速させる。
中国は2032年に米国の経済規模を越える。（福本氏試算）

コロナ後のインバウンド:2020年5月のアンケートで、中国人がアフターコロナに旅行したい国の1位が「日本」、インバウンド消費の重点は「モノ」から「コト」へ。

■講義４
・グリーンリカバリーから考える自治体の未来
UNEP金融イニシアティブ特別顧問
自然エネルギー財団代表理事副理事長
WWFジャパン代表理事会長
気候変動イニシアティブ代表　末吉　竹二郎　氏

2015. 9.SDGsの成立　世界共通の課題としての17の目標。
2019.12.欧州グリーンディールをEUの新成長戦略とし、グリーン経済で世界のリーダーを目指す。
2021. 4.各国2030年度削減目標値の表明（日本2013年度対比▲46%）と2050年度実質ゼロ宣言。
2030.　エンジン車販売禁止。
RE(再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ)の各国比率（電力の輸入量を除いた国内消費量における比率）
ブラジル85%、カナダ76%、ドイツ48%、イギリス43%、中国29%、**日本22%**、米国20%、
ネットゼロに向かう世界のビジネス：化石から再エネへ。
サステナブルファイナンス：投資・保険・銀行が2050年までに投融資のネットゼロを目指す。
企業の目標変更:株主第一から社会第一へ。（顧客、働く人、サプライヤー、地域社会等の為へ）

■所感

講義１

　市としては、外国人労働者の子どもに対する語学、教育、就労等への支援策の一層の充実が望まれると思った。

講義２

　江南市の吉田家から発見された「武功夜話」の真贋について質問する。その回答「記載の地名に疑問があるが、名古屋大学の三鬼清一郎氏等の判断に任せたい。私は鎌倉期が専門なので」と判定を避けられた。（三鬼氏の判断は、武功夜話は江戸時代の作であり、殆どは江戸末期に書かれた。偽書ではなく固有の資料的価値が有る。）

講義３

　ＤＸ、ＧＸを自治体が先取りできるか。

①ＤＸの成功事例を自治体が示す。その為には、既存の事務をデジタル化する考えではなく、自治体のガバナンスの在り方を変える必要がある。

②ＧＸは新たな産業競争だという視点を重視する。国と連携した地元企業の競争力戦略を考える。

講義４

　社会改革の司令塔としての自治体

①基本的使命として、地域の人々の命と健康、経済そして自然を守る。

②グリーンリカバリー、サステナブルな地域作りこそが、自治体間の競争に勝つ近道である。